

#5  
4-1-02  
- 9M

In re Application of:

Toshiaki UEGURI, et al.

Application No.: 09/832,952

Filed: April 12, 2001

For: INFORMATION PROCESSING  
APPARATUS AND METHOD

Examiner: Unassigned

Group Art Unit: 2171

RECEIVED

OCT 05 2001

## Technology Center 2100

October 4, 2001

Commissioner for Patents  
Washington, D.C. 20231

### CLAIM TO PRIORITY

Sir:

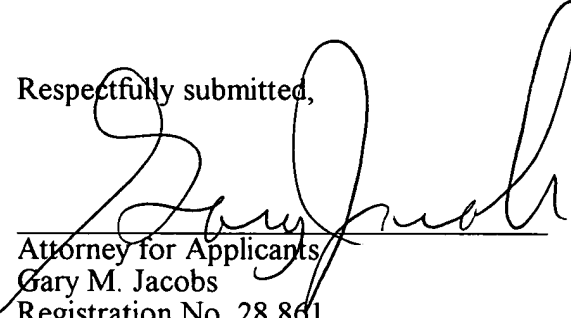
Applicants hereby claim priority under the International Convention and all rights to which they are entitled under 35 U.S.C. § 119 based upon the following Japanese Priority Applications:

JAPAN	2000-112412	April 13, 2000
JAPAN	2001-112656	April 11, 2001

Certified copies of the priority documents are enclosed.

Applicants' undersigned attorney may be reached in our Washington, D.C. office by telephone at (202) 530-1010 All correspondence should continue to be directed to our address given below.

Respectfully submitted,



Attorney for Applicants  
Gary M. Jacobs  
Registration No. 28,861

FITZPATRICK, CELLA, HARPER & SCINTO  
30 Rockefeller Plaza  
New York, New York 10112-3801  
Facsimile: (212) 218-2200

GMJ/dc

DC\_MAIN 73173 v 1

(translation of the front page of the priority document of  
Japanese Patent Application No. 2000-112412)



PATENT OFFICE  
JAPANESE GOVERNMENT

**RECEIVED**  
OCT 05 2001  
Technology Center 2100

This is to certify that the annexed is a true copy of the  
following application as filed with this Office.

Date of Application: April 13, 2000  
Application Number : Patent Application 2000-112412  
Applicant(s) : Canon Kabushiki Kaisha

May 11, 2001

Commissioner,  
Patent Office

Kouzo OIKAWA

Certification Number 2001-3038548

日本国特許庁 09/832,952

JAPAN PATENT OFFICE

Toshiaki Ueguri  
April 12, 2001

別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されている事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed with this Office

出願年月日

Date of Application:

2000年 4月13日

RECEIVED

OCT 05 2001

出願番号

Application Number:

特願2000-112412

Technology Center 2100

出願人

Applicant(s):

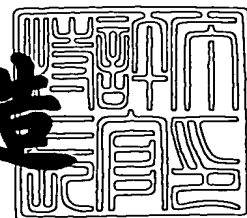
キヤノン株式会社



2001年 5月11日

特許庁長官  
Commissioner,  
Japan Patent Office

及川耕造



出証番号 出証特2001-3038548

【書類名】 特許願

【整理番号】 3984025

【提出日】 平成12年 4月13日

【あて先】 特許庁長官殿

【国際特許分類】 G06F 15/20

【発明の名称】 音声合成装置及びその方法と音声合成システム

【請求項の数】 9

【発明者】

【住所又は居所】 東京都大田区下丸子3丁目30番2号 キヤノン株式会社  
社内

【氏名】 殖栗 俊明

【発明者】

【住所又は居所】 東京都大田区下丸子3丁目30番2号 キヤノン株式会社  
社内

【氏名】 廣田 誠

【特許出願人】

【識別番号】 000001007

【氏名又は名称】 キヤノン株式会社

【代理人】

【識別番号】 100076428

【弁理士】

【氏名又は名称】 大塚 康德

【電話番号】 03-5276-3241

【選任した代理人】

【識別番号】 100101306

【弁理士】

【氏名又は名称】 丸山 幸雄

【電話番号】 03-5276-3241

【選任した代理人】

【識別番号】 100115071

【弁理士】

【氏名又は名称】 大塚 康弘

【電話番号】 03-5276-324

【手数料の表示】

【予納台帳番号】 003458

【納付金額】 21,000円

【提出物件の目録】

【物件名】 明細書 1

【物件名】 図面 1

【物件名】 要約書 1

【包括委任状番号】 0001010

【プルーフの要否】 要

【書類名】 明細書

【発明の名称】 音声合成装置及びその方法と音声合成システム

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 クライアント・サーバ型の通信を行って受信した情報を基に  
音声再生する音声合成装置であって、

所定の単語に対応する読み情報を格納する格納手段と、

音声再生すべきデータに前記所定の単語が含まれるか否かを判定する判定手段  
と、

前記判定手段により前記所定の単語が含まれていると判定されると、前記格納  
手段に格納されている読み情報に従って前記データを基に音声再生する音声再  
生手段と、

を有することを特徴とする音声合成装置。

【請求項 2】 更に、各クライアントに対応して単語情報を登録する手段を  
有し、前記音声再生手段は、前記登録された単語情報を含むデータを優先的に音  
声再生することを特徴とする請求項 1 に記載の音声合成装置。

【請求項 3】 クライアント・サーバ型の通信を行って受信した情報を基に  
音声再生する音声合成システムであって、

クライアントからの指示に従ってインターネットにアクセスしてホームページ  
の情報を獲得するサーバであって、前記サーバは、

前記ホームページの情報の中の更新された更新情報を抽出する抽出手段と、

クライアントに対応して、所定の単語に対する読み情報を格納する格納手段と

、  
前記格納手段に格納された前記読み情報に応じて前記更新情報を基に表音情報  
を作成する表音情報作成手段と、

前記表音情報作成手段で作成された前記表音情報を前記クライアントに送信す  
る送信手段とを有し、

前記クライアントは、

前記送信手段により送信された前記表音情報を受信する受信手段と、

前記受信手段により受信した前記表音情報を基に音声を生成する音声生成手段

と、

を有することを特徴とする音声合成システム。

【請求項 4】 前記サーバは、各クライアントに対応して単語情報を登録する手段を更に有し、

前記表音情報作成手段は、前記登録された単語情報を含む更新情報を優先的に使用して表音情報を作成することを特徴とする請求項 3 に記載の音声合成システム。

【請求項 5】 前記表音情報作成手段は、前記更新情報を W A V E データに変換することを特徴とする請求項 3 又は 4 に記載の音声合成システム。

【請求項 6】 前記表音情報作成手段は、前記更新情報を表音テキストデータに変換することを特徴とする請求項 3 又は 4 に記載の音声合成システム。

【請求項 7】 クライアント・サーバ型の通信を行って受信した情報を基に音声を再生する音声合成方法であって、

所定の単語に対応する読み情報を格納しておき、

音声再生すべきデータに前記所定の単語が含まれるか否かを判定し、

前記所定の単語に対応する読み情報に従って前記データを基に音声を再生することを特徴とする音声合成方法。

【請求項 8】 更に、各クライアントに対応して単語情報を登録し、

前記登録された単語情報を含むデータを優先的に音声再生することを特徴とする請求項 7 に記載の音声合成方法。

【請求項 9】 請求項 7 又は 8 に記載の音声合成方法を実施するプログラムを記憶したことを特徴とするコンピュータにより読取り可能な記憶媒体。

【発明の詳細な説明】

【 0 0 0 1 】

【発明の属する技術分野】

本発明は、例えばインターネット等を介して受信した情報を基に音声信号を再生する音声合成装置及びその方法と音声合成システムに関するものである。

【 0 0 0 2 】

【従来技術】



従来より、パーソナルコンピュータ（クライアント：PC）等によりサーバ（proxy server）を介してインターネットのホームページにアクセスし、そこから得られた情報を、そのサーバを介してクライアント側で取得することが良く行われている。

【0003】

この場合、サーバはユーザにより指定されたURLを用いてホームページにアクセスし、そのホームページに含まれているHTMLファイルを取得してクライアントに送信する。そのクライアントは、サーバより取得したHTMLファイルを画面上に表示し、そこに記憶されている映像やテキスト等を画面上に表示することができる。

【0004】

この表示に際して、ホームページの内容を音声に変換して読み上げる技術があり、このような技術を実現するホームページ読み上げソフトウェアを使用することにより、ユーザが指定したホームページの内容を音声で聞くことができる。このホームページ読み上げソフトウェアによれば、ホームページの内容を先頭から末尾まで全て聞くことができる。

【0005】

またインターネットにおける情報提供手段として、PointCastのようなPush型の情報提供システムが注目されている。このシステムの特徴としては、Webブラウザに代表されるように、文字や画像などの視覚的な閲覧を基礎としている。

【0006】

【発明が解決しようとする課題】

このようなシステムにおいて、サーバからクライアントに送られる情報の中には新語や略語が含まれている場合が多く、このような新語や略語は、既存の読み上げソフトウェアに登録されていない場合が多いため読み誤りが多く発生する。従って、それを基に音声を再生するクライアントでは、その再生された音声を聞いただけでは、その情報の内容が正確に理解できないという問題があった。

【0007】

本発明は上記従来例に鑑みてなされたもので、所定の単語の読み情報を予め登録しておき、その読み情報に従って音声を再生する音声合成装置及びその方法と音声合成システムを提供することを目的とする。

【 0 0 0 8 】

また本発明の目的は、サーバからクライアントに更新情報を送信する際、所定の単語を含む更新情報を優先的に伝送するようにした音声合成装置及びその方法と音声合成システムを提供することにある。

【 0 0 0 9 】

また本発明の目的は、サーバからクライアントに更新情報を送信する際、その更新情報に所定の単語が含まれていると、その単語を予め定めた読みで伝送するようにした音声合成装置及びその方法と音声合成システムを提供することにある。

【 0 0 1 0 】

【課題を解決するための手段】

上記目的を達成するために本発明の音声合成装置は以下のような構成を備える。即ち、

クライアント・サーバ型の通信を行って受信した情報を基に音声を再生する音声合成装置であって、

所定の単語に対応する読み情報を格納する格納手段と、

音声再生すべきデータに前記所定の単語が含まれるか否かを判定する判定手段と、

前記判定手段により前記所定の単語が含まれていると判定されると、前記格納手段に格納されている読み情報に従って前記データを基に音声を再生する音声再生手段と、

を有することを特徴とする。

【 0 0 1 1 】

上記目的を達成するために本発明の音声合成システムは以下のような構成を備える。即ち、

クライアント・サーバ型の通信を行って受信した情報を基に音声を再生する音

声合成システムであって、

クライアントからの指示に従ってインターネットにアクセスしてホームページの情報を獲得するサーバであって、前記サーバは、

前記ホームページの情報の中の更新された更新情報を抽出する抽出手段と、  
クライアントに対応して、所定の単語に対する読み情報を格納する格納手段と

前記格納手段に格納された前記読み情報に応じて前記更新情報を基に表音情報を作成する表音情報作成手段と、

前記表音情報作成手段で作成された前記表音情報を前記クライアントに送信する送信手段とを有し、

前記クライアントは、

前記送信手段により送信された前記表音情報を受信する受信手段と、

前記受信手段により受信した前記表音情報を基に音声を生成する音声生成手段とを有することを特徴とする。

#### 【 0 0 1 2 】

上記目的を達成するために本発明の音声合成方法は以下のような工程を備える。即ち、

クライアント・サーバ型の通信を行って受信した情報を基に音声を再生する音声合成方法であって、

所定の単語に対応する読み情報を格納しておき、

音声再生すべきデータに前記所定の単語が含まれるか否かを判定し、

前記所定の単語を対応する読み情報に従って前記データを基に音声を再生することを特徴とする。

#### 【 0 0 1 3 】

##### 【発明の実施の形態】

以下、添付図面を参照して本発明の好適な実施の形態を詳細に説明する。

#### 【 0 0 1 4 】

##### 〔実施の形態 1〕

本実施の形態の特徴としては、クライアント・サーバ型のシステムを構築して

音声合成の処理をサーバとクライアントに振り分け、クライアントとして、例えばモバイル機器などのように規模の小さなコンピュータにシステムを搭載することを可能にし、更に、ホームページの更新された新規情報を P u s h 型でユーザーに音声で通知することにより、効果的に情報を提供する点にある。更に、この実施の形態では、クライアント側で、予め特定の単語等の読みを設定しておき、その設定された読みに従って音声が発生することができるようにしている。また、クライアントで興味のある単語等も登録しておくことにより、その単語等を含む情報を優先的にそのクライアントに送信するようにしている。

## 【 0 0 1 5 】

図 1 は、本発明の実施の形態 1 に係る通信システムの構成を示すブロック図である。

## 【 0 0 1 6 】

図において、1 0 0 は例えばプロキシ・サーバ(Proxy Server)等のサーバ、2 0 0 はクライアントである。クライアント 2 0 0 は、サーバ 1 0 0 に各種 URL を登録しておき、サーバ 1 0 0 は所定時間毎に、或はクライアントからのコマンドに応じて、その URL を使用してインターネットのホームページにアクセスし、そこから得られた情報を、対応するクライアントに送信することができる。

## 【 0 0 1 7 】

まず最初にサーバ 1 0 0 の構成を説明する。

## 【 0 0 1 8 】

1 1 はユーザ情報データベースで、各クライアントがアクセスしたい URL を、それぞれ対応するクライアントから受取って、各クライアントに対応して記憶している。サーバ 1 0 0 は、ユーザ情報データベース 1 1 に記述された URL に定期的にアクセスして HTML ファイルを取得する。新規情報検出部 1 4 は、その取得した HTML ファイルが、以前取得してコンテンツデータベース 1 2 に記憶されている同じ HTML ファイルと比較して、新たに追加された新規情報、或は更新されている更新データがあるかどうかを判断する。そして、もし新規情報(更新データ)があれば、そのデータを新規情報データベース 1 3 に保存する。また、この取得した HTML ファイルをコンテンツデータベース 1 2 に保存する

。15は新規情報送信部で、クライアントより送信されたデータを基に処理を行い、新規情報データベース13に入っている該当する新規情報を、対応するクライアントに送信する。17は優先文字振り分け部で、新規情報が存在し、ユーザ辞書18に登録された単語が設定されていれば、その新規情報の中のユーザ辞書で登録された単語を含む行を新規情報の先頭に持ってきて、読み付け文字列を含む行を優先的に通知する。18はユーザ辞書で、クライアント毎に単語を登録し、その単語のそれぞれに対応する読みを記憶している。

【0019】

次にクライアント200の構成について説明する。

【0020】

16は新規情報受信部で、サーバ100の新規情報送信部15から送信された新規情報を受信する。21は音響出力部で、サーバ100から受信したWAVE形式のデータ、或はクライアント200で作成した音響信号に基づいて音声や音楽などを出力する。

【0021】

尚、本実施の形態では、優先文字振り分け部17、ユーザ辞書18をサーバ100に設ける例で説明したが本発明はこれに限定されるものでなく、クライアント200に設けてもよい。その場合は、クライアントでテキストデータから表音テキスト、WAVEデータを作成して音声として出力する。

【0022】

次に、ユーザ情報データベース11のデータについて説明する。

【0023】

図2は、ユーザ情報データベース11におけるデータ構成を説明する図である。ここではユーザ毎のURL設定を保存している。

【0024】

この設定項目としては、以下の4つの項目がある。

【0025】

- ・ ユーザ名 (図では“nihon”)
- ・ パスワード (図では“tarou”)

- ・通知モード（図では、モード“2”）
- ・URL

なお、上記でのURLは複数設定することが出来る。

【0026】

図3は、ユーザ辞書18のデータ構成例を説明する図で、ここではユーザ毎に単語の読みを保存している。このユーザ辞書18のファイルは、各ユーザ毎に存在する。

【0027】

この設定項目としては、以下の2つの項目がある。

【0028】

- ・単語（読みを付ける単語を特定する）
- ・読み（特定された単語に対応する読みを示す）

この例では「米」を「アメリカ」と読むように設定されている。

【0029】

なお、上記での単語とその読みは1対1に対応しており、それぞれ複数設定することが出来る。

【0030】

図4は、本発明の実施の形態に係るクライアント200のハードウェア構成の概略を示すブロック図である。

【0031】

図において、31はCPUで、RAM32に記憶された後述する手順を実現するプログラムに従って動作する。32はRAMで、上記プログラムの動作に必要な記憶領域を提供するとともに、ディスク装置34からロードされたアプリケーション・プログラムを記憶している。33はROMである。34はディスク装置で、各種プログラムがインストールされており、その実行に際してRAM32に転送されて格納される。35は出力部で、作成された音声を出力するスピーカや、更にはプリンタ等を備えてもよい。36は、回線を介してサーバ100との間で各種データをやり取りするネットワーク・インターフェース部である。37は表示部で、例えばCRTや液晶等を備えている。38は入力部で、キーボードや

マウスなどのポインティングデバイスを備え、オペレータの操作により各種データを入力するのに使用される。39は上記の各構成を接続するバスである。

【0032】

次に図5のフローチャートを参照して、本実施の形態1に係るサーバ100の新規情報送信部15の動作を説明する。この図5は、本実施の形態1に係るサーバ100による新規情報送信処理を示している。

【0033】

まずステップS411で、クライアント200の新規情報受信部16から送信されてくるデータ（アカウント、パスワード）を抽出し、ユーザ情報データベース11を参照して、該当するユーザであるかを確認する。次にステップS412に進み、ステップS411のアカウントに該当するユーザが登録したURLのリストをユーザ情報データベース11から取り出し、その取り出したURLに基づいて、新規情報データベース13の該当するURLに新規情報があるかどうかを判断し、無ければ処理を終了するが、ある場合にはステップS414に進む。ステップS414では、ユーザ辞書18に登録された単語が設定されていれば、その新規情報の中のユーザ辞書18に登録された単語を含む行を、その新規情報の先頭に持ってきてステップS415に進み、またユーザ辞書18に登録された単語が設定されていなければ、この優先抽出・振り分け処理を行わずにステップS415に進み、その新規情報（テキスト情報）を言語処理して表音テキストを作成する。このステップS415の言語処理ではユーザ辞書18を用い、ユーザ辞書18に登録された単語が文中にある場合は、その単語には、ユーザ辞書18に登録された通りの読みを付ける。また表音テキストとは、アクセントやポーズを記述した音声を表す文字である。次にステップS416に進み、その表音テキストを音響処理してWAVE形式のデータを作成してステップS417に進み、その作成したWAVE形式のデータをクライアント200に送信する。

【0034】

以上説明したように本実施の形態1によれば、各クライアント毎に、単語の表記、読み、アクセントを自由に登録・削除できるユーザ辞書を設定することにより、新規情報の内容を容易に理解することが可能になる。更に、その登録されて

いる単語等は、そのクライアントにとって興味のある情報であると判断し、通知すべき複数の情報において、そのユーザ辞書に登録された単語を含む情報を優先的に通知することが可能になる。

#### 【 0 0 3 5 】

尚、本実施の形態 1 では、サーバ 1 0 0 でテキストから W A V E データへの言語処理、音響処理を行うので、クライアントでは受信した W A V E データをそのまま再生でき、読み上げ性能を向上させることができる。よって、この実施の形態 1 は、規模の小さな（処理能力の低い）クライアントに向いている。

#### 【 0 0 3 6 】

##### 〔実施の形態 2〕

次に本発明の実施の形態 2 について説明する。この実施の形態 2 では、サーバ 1 0 0 からクライアント 2 0 0 に伝送するデータを、前述の実施の形態 1 の W A V E データでなく、表音テキストデータとしている。

#### 【 0 0 3 7 】

図 6 は、本実施の形態 2 に係るサーバ 1 0 0 による新規情報送信処理を示すフローチャートである。

#### 【 0 0 3 8 】

まずステップ S 4 2 1 で、クライアント 2 0 0 の新規情報受信部 1 6 から送信されてくるデータ（アカウント、パスワード）を抽出し、ユーザ情報データベース 1 1 を参照して、該当するユーザであるかを確認する。次にステップ S 4 2 2 に進み、ステップ S 4 2 1 のアカウントに該当するユーザが登録した URL のリストをユーザ情報データベース 1 1 から取り出し、その取り出した URL に基づいて、新規情報データベース 1 3 の該当する URL に新規情報があるかどうかを判断し、無ければ処理を終了するが、ある場合にはステップ S 4 2 4 に進む。このステップ S 4 2 4 では、前述のステップ S 4 1 4 と同様にして、ユーザ辞書 1 8 に登録された単語が設定されているかを調べ、その更新データの中のユーザ辞書 1 8 で登録された単語を含む行を新規情報の先頭に持ってきてステップ S 4 2 5 に進み、またユーザ辞書 1 8 に登録された単語が設定されていなければ、この優先抽出、振り分け処理を行わずにステップ S 4 2 5 に進み、その新規情報（テ



キスト情報)を言語処理して表音テキストを作成する。このステップS425の言語処理ではユーザ辞書18を用い、そのユーザ辞書18に登録された単語が文中にある場合は、その単語に対してユーザ辞書18に登録された通りの読みを付ける。ここで表音テキストとは、アクセントやポーズを記述した音声を表す文字である。次にステップS426に進み、その表音テキストをクライアント200に送信する。

【0039】

以上説明したように本実施の形態2によれば、前述の実施の形態1の効果に加えて、サーバで言語処理を行って表音テキスト形式でクライアントに送信するので、サーバからクライアントに送信するデータ量を少なくできる。尚、この場合は、クライアントで表音テキストから音響信号を生成するので比較的規模の大きな(処理能力の高い)クライアントに向いている。

【0040】

[実施の形態3]

上記実施の形態1, 2では、ユーザ辞書18に単語の読みを設定しているが、図7に示すように、ユーザ情報データベース11に単語の読みを設定することも出来る。

【0041】

尚、上記実施の形態では、ユーザ辞書18に登録された単語を含む行を新規情報の先頭に持ってきているが、ユーザ辞書に登録された単語を含む複数行が存在するならば、それらの行を新規情報の先頭から順番に挿入する方法で実現しても良い。

【0042】

また上記実施の形態では、ユーザ辞書18に登録された単語を含む行だけを新規情報の先頭に持ってきているが、ユーザ辞書に登録された単語を含む行にリンクがついていたら、そのリンク先の内容も新規情報の先頭に持ってくる方法で実現しても良い。

【0043】

更に、上記実施の形態では、ユーザ辞書18に登録された単語を含む行を新規

情報の先頭に持ってきているが、ユーザ辞書 1 8 に登録された単語を含む文だけを選別して新規情報として通知する方法で実現しても良い。

【 0 0 4 4 】

尚、上記実施の形態においては、各部を同一の計算機上で構成する場合について説明したが、これに限定されるものではなく、複数の計算機上で実現してもよい。

【 0 0 4 5 】

また、上述の実施の形態は、それぞれ独立に説明したが本発明はこれに限定されるものでなく、それぞれ独立に実施されても、或はそれぞれ組み合わされて実施されてもよい。

【 0 0 4 6 】

なお、本発明は、複数の機器から構成されるシステムに適用しても、1つの機器からなる装置に適用してもよい。前述した実施形態の機能を実現するソフトウェアのプログラムコードを記録した記録媒体を、システム或いは装置に供給し、そのシステム或いは装置のコンピュータ（またはCPUやMPU）が記録媒体に格納されたプログラムコードを読み出し実行することによっても達成される。

【 0 0 4 7 】

この場合、記録媒体から読み出されたプログラムコード自体が前述した実施形態の機能を実現することになり、そのプログラムコード自体が前述した実施形態の機能を実現することになり、そのプログラムコードを記録した記録媒体は本発明を構成することになる。

【 0 0 4 8 】

プログラムコードを供給するための記録媒体としては、例えば、フロッピーディスク、ハードディスク、光ディスク、CD-ROM、CD-R、磁気テープ、不揮発性のメモリカード、ROMなどを用いることが出来る。

【 0 0 4 9 】

また、コンピュータが読み出したプログラムコードを実行することにより、前述した実施の形態の機能が実現されるだけでなく、そのプログラムコードの指示に基づき、コンピュータ上で稼動しているOSなどが実際の処理の一部または全

部を行い、その処理によって前述した実施の形態の機能が実現される場合も含まれる。

【 0 0 5 0 】

更に、記録媒体から読み出されたプログラムコードが、コンピュータに挿入された機能拡張ボードやコンピュータに接続された機能拡張ユニットに備わるメモリに書き込まれた後、そのプログラムコードの指示に基づき、その機能拡張ボードや機能拡張ユニットに備わるCPUなどが実際の処理の一部または全部を行い、その処理によって前述した実施形態の機能が実現される場合も含まれる。

【 0 0 5 1 】

以上説明したように本実施の形態によれば、各クライアント毎に、単語の表記、読み、アクセントを自由に登録できるユーザ辞書を設定することにより、各クライアントは新規情報を正確な読みで聞き取ることができ、これによりその新規情報の内容を容易に理解することが可能になる。

【 0 0 5 2 】

また、ユーザ辞書に登録された単語を含む情報は、そのクライアントのユーザにとって興味のある情報であるとみなし、これを優先的に通知することが可能になるという効果が得られる。

【 0 0 5 3 】

【発明の効果】

以上説明したように本発明によれば、所定の単語の読み情報を予め登録しておき、その読み情報に従って音声を再生することができる。

【 0 0 5 4 】

また本発明によれば、サーバからクライアントに更新情報を送信する際、所定の単語を含む更新情報を優先的に伝送することができる。

【 0 0 5 5 】

また本発明によれば、サーバからクライアントに更新情報を送信する際、その更新情報に所定の単語が含まれていると、その単語を予め定めた読みで伝送できるという効果がある。

【図面の簡単な説明】

【図 1】

本発明の実施の形態 1 に係る通信システムの基本構成を示す図である。

【図 2】

本発明の実施の形態に係るユーザ情報データベースのデータ例を示す図である。

【図 3】

本発明の実施の形態に係るユーザ辞書のデータ例を示す図である。

【図 4】

本発明の実施の形態に係るクライアントの基本ハードウェア構成を示す図である。

【図 5】

本発明の実施の形態 1 に係るサーバにおける新規情報送信処理を示すフローチャートである。

【図 6】

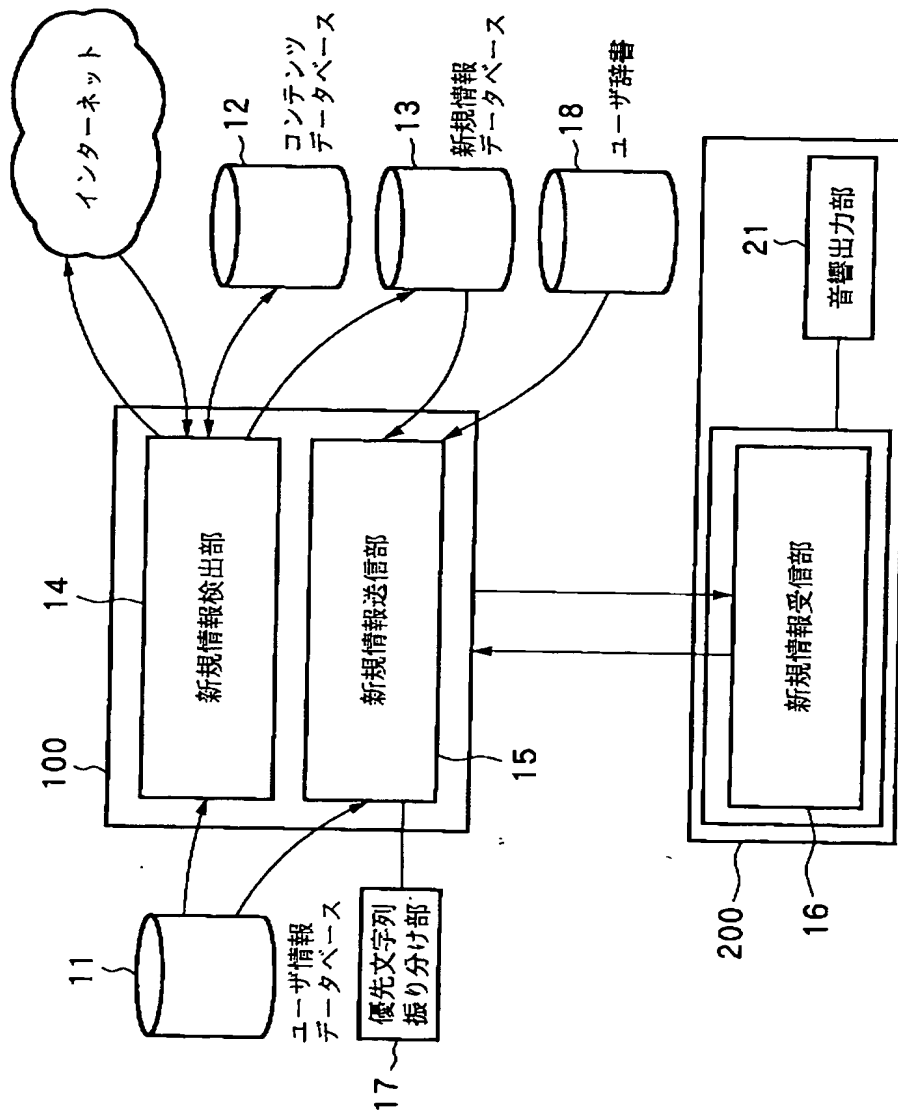
本発明の実施の形態 2 に係るサーバにおける新規情報送信処理を示すフローチャートである。

【図 7】

本発明の実施の形態 3 に係るユーザ情報データベースのデータ例を示す図である。

【書類名】 図面

【図 1】



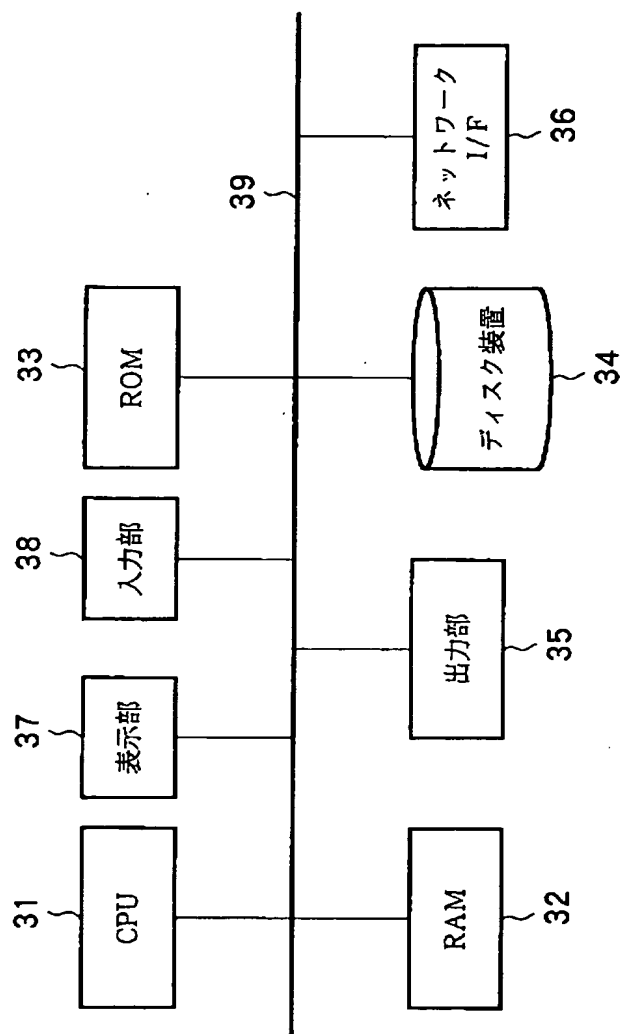
【図 2】

<user>	
ID : nihon	←ユーザ名
PASSWD : tarou	←パスワード
MODE : 2	←通知モード
<url>	← URL (複数指定可能)
http : // www.abc.com /	
http : // www.def.co.jp /	
http : // www.ghi.co.jp /	
</url>	
</user>	
	:
	:
	:

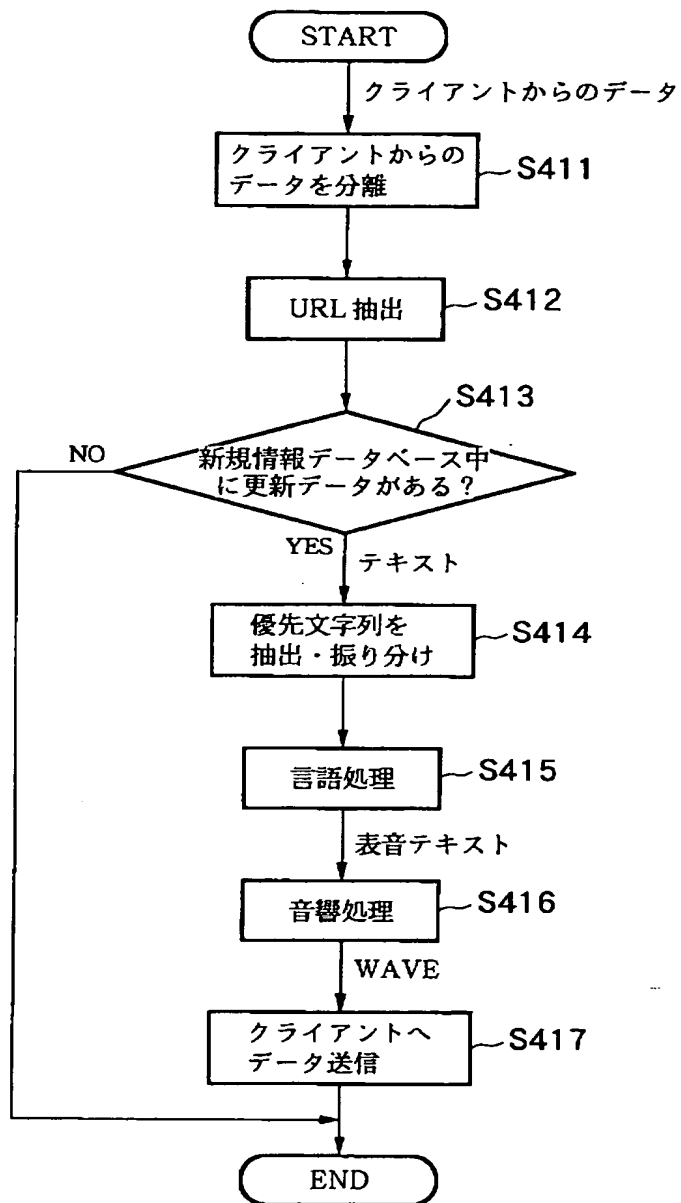
【図 3】

<word>	←読み付けする単語
米	
<yomi>	←読み
アメリカ	
</yomi>	
</word>	
	:
	:

【図 4】

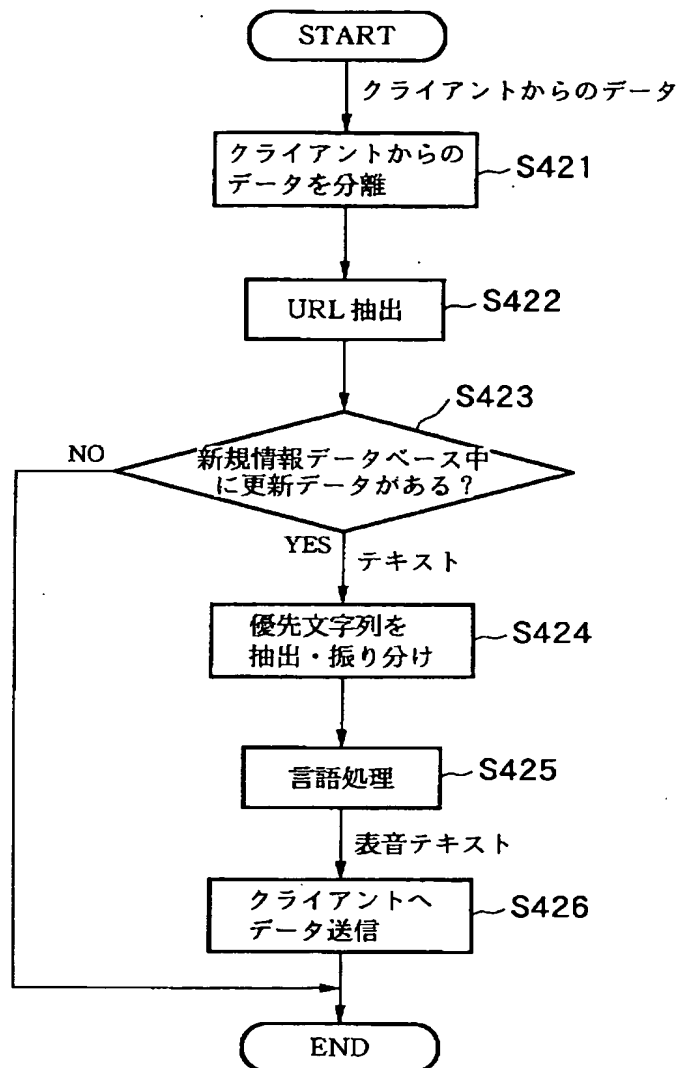


【図 5】





【図 6】



【図 7】

<user>	
ID : nihon	←ユーザ名
PASSWD : tarou	←パスワード
MODE : 2	←通知モード
<url>	←URL(複数指定可能)
http : // www.abc.com /	
http : // www.def.co.jp /	
http : // www.ghi.co.jp /	
</url>	
<word>	←読み付けする単語
米	
<yomi>	←読み
アメリカ	
</yomi>	
</word>	
:	
:	
</user>	
:	
:	
:	

【書類名】 要約書

【要約】

【課題】 所定の単語の読み情報を予め登録しておき、その読み情報に従って音声再生する。

【解決手段】 クライアント・サーバ型の通信を行って受信した情報を基に音声を再生する音声合成装置及びシステムであって、サーバ 1 0 0 は、ユーザ辞書 1 8 に、所定の単語に対応する読み情報を格納しておき、音声再生すべきデータに所定の単語が含まれている場合には、そのユーザ辞書 1 8 に格納されている読み情報に従って W A V E データ、或は表音テキストデータを作成してクライアント 2 0 0 に伝送する。これによりクライアント 2 0 0 は、そのデータを、予め指定した読みで再生することができる。

【選択図】 図 1

出 願 人 履 歴 情 報

識別番号 [000001007]

1. 変更年月日	1990年 8月30日
[変更理由]	新規登録
住 所	東京都大田区下丸子3丁目30番2号
氏 名	キャノン株式会社